

資料編

- 1 地震について
- 2 風水害について
- 3 高齢の人と障害がある人の現状
- 4 防災カード例
- 5 障害者防災ニーズ調査結果(抜粋)

1 地震について

(1) マグニチュードと震度

マグニチュード（M）は、地震そのものの大きさを表しています。

震度は、ある地点での地面の揺れの強さを表し、震源（地震の起こった所）からの距離や震源の深さ、地盤の状態などによって異なってきます。マグニチュードは小数が付きますが、震度は小数の付かない0から7までの数値で、5と6は弱と強に細分されています。

(2) 首都圏における地震発生確率

（文部科学省地震調査研究推進本部平成16年8月公表）

対象地震	今後10年間	今後30年間	今後50年間
南関東地震（M7クラス）	30%	70%	90%

平成8～9年度に実施した「埼玉県地震被害想定調査」における想定地震

(3) 埼玉県に影響をもたらす地震被害の想定結果

（内閣府中央防災会議首都直下地震対策専門調査会 平成17年2月公表）

対象地震	範囲	建物被害	死者	帰宅困難者	避難者
東京湾北部地震 （M7.3 最大震度6強）	1都8県	85万棟 うち火災65万棟	1万1千人 うち火災6,200人	650万人	700万人
	埼玉県	8万5千棟 うち火災6万9千棟	700人 うち火災500人	67万人	100万人

直下地震対策専門調査会における想定地震

(4) 埼玉県の過去の地震被害

- 大正12年 関東大震災 M7.9
 - ・埼玉県内 死者217人（秩父郡：家屋全壊1棟、破損6棟）
- 昭和6年 西埼玉地震 M6.9
 - ・埼玉県内 死者16人、負傷者207人、家屋全壊206棟

(5) 気象庁震度階級関連解説表

(出典：気象庁ホームページ)

震度階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物	鉄筋コンクリート造建物	ライフライン	地盤・斜面
震度0	人は揺れを感じない。						
震度1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。						
震度2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつりさげ物が、わずかに揺れる。					
震度3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。				
震度4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目覚めます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自転車を運転していて、揺れに気付く人がいる。				
震度5 (弱)	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。	安全装置が作動し、ガスが遮断される家庭がある。まれに水道管の被害が発生し、断水することがある。〔停電する家庭もある。〕	軟弱な地盤で、亀裂が生じることがある。山地で落石、小さな崩壊が生じることがある。
震度5 (強)	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車がある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い建物では、壁、梁(はり)、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生することがある。〔一部の地域でガス、水道の供給が停止することがある。〕	
震度6 (弱)	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに大きな亀裂が生じるものがある。	家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生する。〔一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある。〕	地割れや山崩れなどが発生することがある。
震度6 (強)	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁、柱が破壊するものがある。	ガスを地域に送るための導管、水道の配水施設に被害が発生することがある。〔一部に地域で停電する。広い地域でガス、水道の供給が停止することがある。〕	
震度7	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、跳ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。	〔広い地域で電気、ガス、水道の供給が停止する。〕	大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。

ライフラインの〔〕内の事項は、電気、ガス、水道の供給状況を参考として記載したものである。

(6)マグニチュード (M) による地震の分類

巨大地震	8	M
大地震	7	M
中地震	5	M < 7
小地震	3	M < 5
微小地震	1	M < 3
極微小地震		M < 1

2 風水害について

(1) 埼玉県における昭和50年代以降の災害救助法が適用された風水害

- 台風18号による風水害 (昭和57年 9 月)
死者 1 人、負傷者 4 人、被害戸数63,877戸、被害人員223,606人
- 台風10号による風水害 (昭和61年 8 月)
負傷者 1 人、被害戸数26,338戸、被害人員105,027人
- 台風18号による水害 (平成 3 年 9 月)
被害戸数28,442戸、被害人員99,907人

(2) 注意報・警報等の種類及び発表基準 (抜粋)

(本県の場合、熊谷气象台が発表)

(出典：埼玉県地域防災計画 (風水害・事故対策編))

種 類	発 表 基 準
注 意 報	強風注意報 平均風速が11m/s (秩父地方10m/s) 以上で主として強風による被害が予想される場合。
	大雨注意報 かなりの降雨があつて被害が予想される場合。 その基準は、次の条件に該当する場合 1 時間雨量が30mm以上の場合 3 時間雨量が50mm以上の場合 24時間雨量が60mm (秩父地方100mm) 以上の場合
	大雪注意報 大雪によって被害が予想される場合。その基準は、24時間の降雪の深さが10cm以上と予想される場合

種 類		発 表 基 準
注 意 報	洪水注意報	洪水によって災害が起こるおそれがあると予想される場合。 その基準は、次の条件に該当する場合 1 時間雨量が30mm以上、かつ総雨量が60mm（秩父地方100mm）以上 3 時間雨量が50mm以上、かつ総雨量が60mm（秩父地方100mm）以上 24時間雨量が80mm（秩父地方130mm）以上
	暴風警報	平均風速が20m/s（秩父地方15m/s）以上で、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合
警	大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合であって、その基準は次の条件に該当する場合 （南中部・南東部・北東部） 1 時間雨量が40mm以上 3 時間雨量が80mm以上 24時間雨量が150mm以上 （南西部） 1 時間雨量が50mm以上 3 時間雨量が100mm以上 24時間雨量が200mm以上 （北西部） 1 時間雨量が60mm以上 3 時間雨量が100mm以上 24時間雨量が200mm以上 （秩父地方） 1 時間雨量が60mm以上 3 時間雨量が100mm以上 24時間雨量が250mm以上
	大雪警報	大雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合であって、その基準は、24時間の降雪の深さが30cm以上と予想される場合
報	洪水警報	洪水によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合であって、その基準は次の条件に該当する場合 （南中部・南東部・北東部） 1 時間雨量が40mm以上 3 時間雨量が80mm以上 24時間雨量が150mm以上 （南西部） 1 時間雨量が50mm以上 3 時間雨量が100mm以上 24時間雨量が200mm以上 （北西部） 1 時間雨量が60mm以上 3 時間雨量が100mm以上 24時間雨量が200mm以上 （秩父地方） 1 時間雨量が60mm以上 3 時間雨量が100mm以上 24時間雨量が250mm以上

(3) 避難情報三類型の避難勧告等の一覧

(集中豪雨時における情報伝達及び災害時要援護者の避難支援に関する指針から抜粋)

	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報 (災害時要援護者等に対する避難情報)	災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性が高まった状況	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難所への避難行動開始(避難支援者は支援行動を開始) ・上記以外の者は、家族との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる者は、計画された避難所への避難行動開始
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、直ちに避難行動を完了 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動

3 本県における高齢の人と障害がある人の現状

区分	人数(人)	総人口に占める割合(%)	備考
高齢者	1,157,006	16.4	H17年国勢調査
要介護認定者	156,654	2.2	H17年度末
身体障害者手帳所持者	181,877	2.6	H17年度末
療育手帳所持者	30,272	0.4	H17年度末
精神障害者・保健福祉手帳所持者	17,086	0.2	H17年度末
精神障害者・通院医療費公費負担患者	56,847	0.8	H17年度末
特定疾患医療給付受給者	29,221	0.4	H17年度末
総人口	7,054,243		平成17年国勢調査

4 防災カード例

(表面)

防 災 カ ー ド			
(ふりがな) 名 前	性 別	男・女	
	生年月日	明・大・昭・平	年 月 日
住 所	TEL	FAX	
勤 務 先 (学 校 名)	(名 称) (住 所) TEL	FAX	
その他の 緊急連絡先 (親せき、 知り合い など)	(名 前) (住 所) TEL	FAX	
	(名 前) (住 所) TEL	FAX	
避 難 場 所			
緊急連絡先	市町村役場 TEL	FAX	
	警察 110	FAX110番 0120 264110	
	火災・救急 119	消防本部 FAX	

(裏面)

血 液 型			
治療中の病気			
飲んでいる薬 (薬の 名前と量)			
かかりつけの 病院 など	(名 称) (住 所) TEL	(担 当 医)	FAX
アレルギーの有無			
障害の種類・等級			
保険証・手帳等番号			
補装具・ 日常生活用具等	品名 メーカー名 備考(取扱企業連絡先等)		
(災害のときに必要な手助け、相手に理解してほしいことなどを記入しておく。)			

耳の不自由な人向け

災害のときに必要な会話カード集（例）

・ 私は、耳とことばが不自由です。
このカードで質問しますので、教えてください。

・ 何が起きているのですか？
紙に書いて教えてください。

・ 地震の状況を、紙に書いて教えてください。

・ 避難した方がいいのですか？
➡ はい いいえ わからない
私を避難場所へ連れて行ってください。

・ 係員の人は何を話しているのですか？
紙に書いて教えてください。

・ 今、どんな行動をとればいいのですか？
紙に書いて教えてください。

・私は()まで行きます。

電車・バス は、そこまで動いていますか？

➡ はい いいえ わからない

どこまで動いているか、紙に書いて教えてください。

・次のところに、私は無事だと電話をかけてください。

私 の 名 前 ()

連 絡 先 ()

T E L 番 号 ()

・次のところに、電話をかけてください。

伝えてほしいこと ()

私 の 名 前 ()

連 絡 先 ()

T E L 番 号 ()

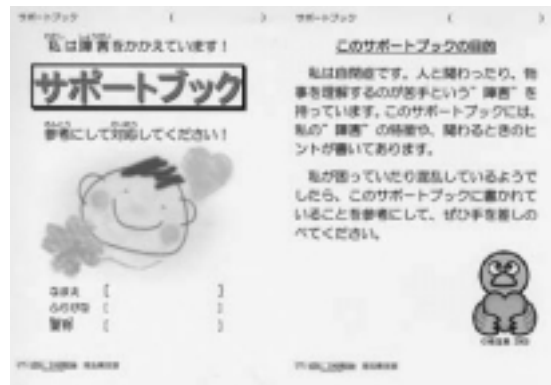
・私の家が・近所が 火事です！

119番に電話してください。

・ケガです・病気です！

119番に電話してください。

自閉症の人向け



詳細は、日本自閉症協会埼玉県支部（事務局：090 6144 2793）

ホームページ：<http://saitama-asj.hp.infoseek.co.jp/index.html>

5 障害者防災ニーズ調査結果（抜粋）

埼玉県障害者社会参加推進センターが、平成18年9月、県内の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の各手帳を持っている人を対象に、防災ニーズについての調査を実施しました。

その結果について、質問項目と回答内容の一部を抜粋して掲載しました。

○ 障害種別回答者数 (人)

障 害 種 別	人 数
身体障害(身体)	324
視覚障害	22
聴覚障害	22
肢体不自由	266
内部障害	14
知的障害(知的)	157
精神障害(精神)	44
計	525

○ 地域での交流について (人)

項 目	身体	知的	精神	計
近所と交流があり、障害は理解してもらっている	176	58	3	237
日ごろは一人、または家族と行動しており近所とはあまり交流がない	112	66	29	207
そ の 他	36	33	12	81
計	324	157	44	525

○ 所在をどなたかに把握してもらっていますか (人)

項 目	身体	知的	精神	計
住所を把握してもらっている	188	143	29	360
住所を把握してもらっていない	98	14	12	124
そ の 他	38	0	3	41
計	324	157	44	525

○ あなたの住所をどなたかに把握してもらいたいですか (人)

項 目	身体	知的	精神	計
個人情報なので好ましくない	36	13	17	66
非常時などに支援を受けるために必要	196	124	23	343
そ の 他	92	20	4	116
計	324	157	44	525

○ 緊急時の連絡方法は？ (人)

項 目	身体	知的	精神	計
消防署の緊急通報を利用	12	0	0	12
電話（携帯）等で家族・民生委員等に連絡がとれる	182	76	25	283
特別には連絡がとれるようになっていない	80	58	14	152
そ の 他	42	23	5	70
計	316	157	44	517

○ 災害にあった場合を想定して何らかの対策をしている人（217人）について、どんな対策をしていますか（複数回答あり）

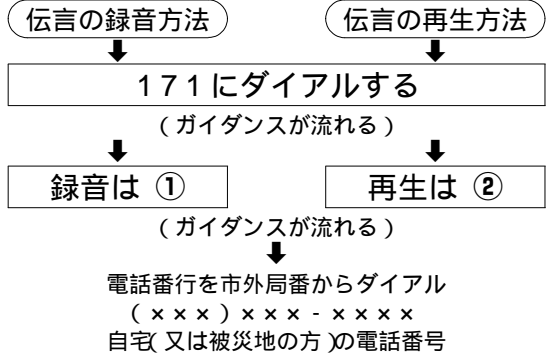
(人)

項 目	人 数
住宅を耐震にした（改築を含めて）	40
家具を固定するなどの配慮をしている	97
補装具、日常生活用具などを備えている	80
食料品などを備蓄している	88
医療品などを備蓄している	86
家族で緊急時の連絡方法を決めている	95
その他	20

埼玉県障害者社会参加推進センター

障害者の地域における自立生活と社会参加を推進するために、国と各都道府県に設置されるもので、県では埼玉県障害者交流センター内にあります。県から社会参加促進事業を受託して、相談や啓発などの事業、調査研究等の事業などを行っています。

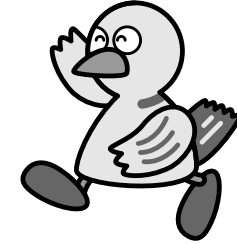
●NTTの「声の伝言板」ダイヤル利用法●
災害時にのみ提供されます。



事前の心得

1. 「防災カード」は常に携帯する。
 2. 避難場所や緊急連絡の方法は家族で確認する。
 3. 日ごろから安全対策(非常食・飲料水・救急医薬品の準備、防災訓練への参加、自宅家具の固定など)に努める。
 4. 寝室に底の厚いスリッパ等を用意する。
 5. 懐中電灯は寝室の手の届くところに置く。
- 避難するとき
1. あわてずに近所に声をかけて、いっしょに避難。
 2. 火の始末・戸締り・電気の元スイッチ切・ガスの元栓閉めをする。
 3. 携帯品は必要最小限にする。

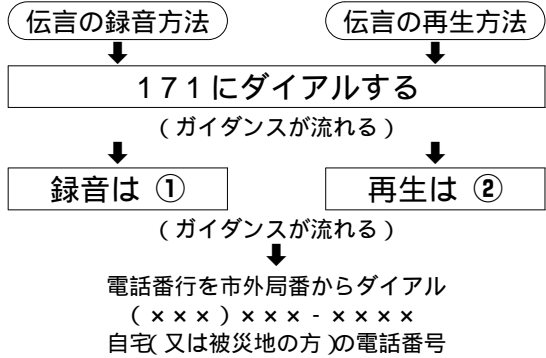
防災カード



埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県福祉部

●NTTの「声の伝言板」ダイヤル利用法●
災害時にのみ提供されます。



事前の心得

1. 「防災カード」は常に携帯する。
 2. 避難場所や緊急連絡の方法は家族で確認する。
 3. 日ごろから安全対策(非常食・飲料水・救急医薬品の準備、防災訓練への参加、自宅家具の固定など)に努める。
 4. 寝室に底の厚いスリッパ等を用意する。
 5. 懐中電灯は寝室の手の届くところに置く。
- 避難するとき
1. あわてずに近所に声をかけて、いっしょに避難。
 2. 火の始末・戸締り・電気の元スイッチ切・ガスの元栓閉めをする。
 3. 携帯品は必要最小限にする。

防災カード



埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県福祉部

携帯用防災カード
両面コピーをすれば、
携帯用として使えます。

防災カード			
(ふりがな) 氏名		性別	生年月日 血液型
住所		TEL	FAX
勤務先 (学校名)		TEL	FAX
緊急連絡先	氏名住所	TEL	FAX
	氏名住所	TEL	FAX

避難場所			
治療中の病気			
かかりつけの病院	TEL	FAX	
アレルギーの有無			
保険証・障害者手帳等の番号			
補装具・日常生活用具等	品名 連絡先	メーカー	
その他(必要な支援等)			

緊急時の連絡先	
市役所	
警察署	
消防署	

防災カード			
(ふりがな) 氏名		性別	生年月日 血液型
住所		TEL	FAX
勤務先 (学校名)		TEL	FAX
緊急連絡先	氏名住所	TEL	FAX
	氏名住所	TEL	FAX

避難場所			
治療中の病気			
かかりつけの病院	TEL	FAX	
アレルギーの有無			
保険証・障害者手帳等の番号			
補装具・日常生活用具等	品名 連絡先	メーカー	
その他(必要な支援等)			

緊急時の連絡先	
市役所	
警察署	
消防署	